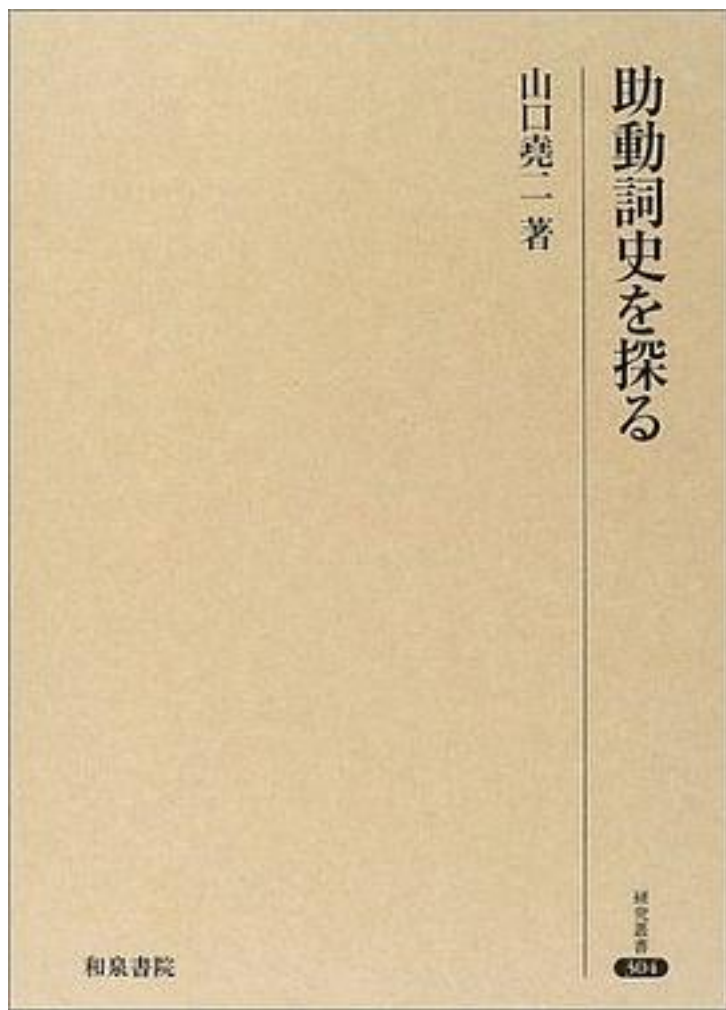


助動詞史を探る



[助動詞史を探る 下载链接1](#)

著者:山口堯二

出版者:和泉書院

出版时间:2003/10

装帧:

isbn:9784757602304

第一・二章に配した「「まし」の意味領域」「推量体系の史的変容」を、筆者の助動

詞研究のいわば源流として、近年、力を入れてきた、助動詞史とその周辺に関する研究のまとめである。最も早い執筆の第一章は、古代語の共時態中心のものだが、第二章以下、いずれも通史的な見通しを重視する姿勢で探っている。「〈終止〉なり」「げなり＞げな」「さうな＞さうだ」に共通する、推定から伝聞への推移傾向を述べた第三章から、勧誘表現に進む分析化の傾向を探った第十章までは、狭義の推量体系の近隣に広がる問題を、「べし」「まじ」「じ」「まい」などの変遷を含めて個別に究明した。第十一章では、それらがともに「た」に収斂していく過程を探り、第十二章では、補助動詞の補完的なふるまいを探る。第十三章では、準助動詞的な「にて＞で」に補助動詞「あり＞ある」の共起が進む過程を探る。加筆も多く、構成を改めたものもある。

作者介绍:

目录:

[助動詞史を探る_ダウンロード1](#)

标签

评论

[助動詞史を探る_ダウンロード1](#)

书评

[助動詞史を探る_ダウンロード1](#)